岩石礦物礦床學

第一卷 第一號

昭和四年,月號

圖版第一 鳴子火山 (上田學士記事参照) 創 刊 の 辭

研 究 報 女

研究短報文

鳴子火山略報(口繪参照) 理學士 上 田 潤 一鳴子火山略報(口繪参照) 理學士 志 賀 義 雄 三宅鳥産橄欖石の化學成分 理學士 瀬 戸 國 勝

評論及雜錄

◆本邦に於ける火山岩の分布(1)………… {理學博士 神 津 俶 祐 理學博士 波 邊 萬 次 耶 · 石油生成の機巧(1)………… 理學博士 高 橋 純 一

少 錄

新刊紹介雜報及會報

東北帝國大學理學部岩石礦物礦床學教室內 日本岩石礦物礦床學會

The Journal of the Japanese Association of

Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists.

President. S. Kôzu (Chief editor). Secretaries. M. Watanabê (Editor), J. Takahashi (Editor), S. Tsuboi (Editor). Assistant Secretary. M. Masuda, Treasurer, K. Seto. Librarian. K. Katô. T. Hirabayashi, M. Hoshina, T. Iki, Council: N. Fukuchi, T. Katô, T. Inouye, N. Kanehara, R. Katayama T. Matsumoto, Sh. Nakamura, S. Kôzu, M. Kawamura, S. Noda, T. Ogawa, Y. Oinouve, I. Omura,

Y. Sagawa, T. Sasaki, I. Sugimoto, J. Takahashi, K. Takenouchi, H. Tanakadate. S. Tokunaga, Y. Wakabayashi,

M. Watanabe

CONTENTS.

Ptate I. The Narugo Volcano.

Short Articles:

Editorials and Reviews:

Mineralogy and Crys.'allography. Linear expansion of calcite etc.

Petrology and Volcanology. Ancient volcanoes of Hsuan IIua, etc.

Ore deposits. Some characteristic features of the ore deposits of Japan etc.

Petroleum deposits. Microscopic c'assisseation of oil shales etc.

Ceramic minerals. Fused sillica etc.

Coal. Geology of Ta Ching Range and its coal field etc.

Related sciences. Telluric currents and their application on prospecting etc.

Notes and News; New publications.

Published monthly by the Association, in the Institute of Mineralogy, Petrology and Economic Geology, Töhoku Imperial University, Sendai, Japan.

本會役員(會報)

會長 神 津 俶 祐

幹事兼編輯 渡邊萬次郎 高橋 純一 坪井誠太郎 庶 務 主 任 益田 峰一 會計 主 任 瀨戶 國勝 圖 書 主 任 加藤謙次郎

本會顧問(五十)

伊木 常誠 石原 富松 小川 琢治 大井上義近 大村 一藏 片山 量平 金原 信泰 加藤 武夫 河村 幹雄 佐川榮次郎 佐々木敏綱 杉本五十鈴 竹內 維彥 田中舘秀三 德永 重康 中村新太郎 保科 正昭 松本 野田勢次郎 平林 武 唯一 若林爛一郎 井上禧之助 山田 光雄

本誌抄錄欄擔任者(五十)

潤一 加藤謙次郎 義禮 鈴木縣三九 瀨戶 國勝 上田 河野 鶴見志津夫 中野 長俊 高橋 純一 高根 勝利 根本 忠寬 吉木 文平 渡邊萬太郎 益田 峰一 八木 次男

昭和四年一月 一 日發行昭和三年十二月廿日印刷 本 會費發送先 入會申込所 仙臺市東北帝國大學理學部內 會 印 即 賣 會費牛ヶ年分參圓 右 行 者 彩 者 捌 刷 刷 所 所 一部六拾錢 者 仙 仙臺市東北帝國大學理學部內 臺 東北印刷株 **相本岩石礦物礦** 鈴 日本岩石礦物 丸善株式 市 電話 國 一ヶ年分六圓 分 年分豫約六圓五十錢 印刷株式會社 木 田 ,六番 仙臺社 町 八八二五番 地 礦 仙 床 床 支店 學 學 納 會 會 策 勝

次號以下所載項目の一部次の如し

三瓶火山産淡灰及び淡紅二種の熔岩成分礦物の特徴及び成	
因的考察 · · · · · · · · 理學博士 神津 俶 祐, 理 學 士	吉木文平
海底泥土の石油礦床學的研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
· · · · · · · · · · · 理學博士 高橋 純一, 理學士	八木次男
神岡礦山栃洞礦床のスカルン化作用 ・・・・・・理學博士	渡邊萬次郎
本溪湖石炭に及ぼす低温加熱の影響・・・・・・・理 學士	鶴見志津夫
窯業原料礦物に就て・・・・理學博士 神津 俶祐, 理 學 士	益田 峰一
石油人造法最近の進步に就て ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高橋 純一
火山玻璃の熱的研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	神津俶祐
温度の變化による石英の面角及び軸率の變化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
······理學博士 神津 俶祐, 理 學 士	高根 勝利
朝鮮産火山岩の化學的研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 理 學 士	瀬戸國勝
炭酸石灰及び硫酸バリウムの沈澱に關する一實驗	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中野長俊
含油層に於ける硅質頁岩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高橋 純一
神岡礦山産珪酸亜鉛鑛に就て・・・・・・・・・・・理學博士	渡邊萬次郎

岩石礦物礦床學

第一卷 第一號

昭和四年一月號

圖版第一 鳴子火山(上田學士記事參照) 創 刊 の 辭

研 究 報 文

研究短報文

 鳴子火山略報(口繪參照)
 理學士 上 田 潤 一 鳴子火山熔岩の化學性質

 電子火山熔岩の化學性質
 理學士 志 賀 義 雄 三宅鳥産橄欖石の化學成分

 理學士 瀬 月 國 勝

評論及雜錄

本邦に於ける火山岩の分布(1)…………… (理學博士 渡 邊 萬 次 耶 石油生成の機巧(1)………… 理學博士 高 橋 純 一

抄 錄

礦物學及結晶學 岩石學及火山學 直隷宣化一帶古火山岩の研究外11件 金屬礦床學 本邦金屬礦床の特性外4件 石油礦床學 油母頁岩の顯微鏡的分類外5件 熔融石英外7件 経遠大青山煤田地質外5件 参考科學 地電流の探礦法的應用外7件

新刊紹介雜報及會報

東北帝國大學理學部岩石礦物礦床學教室內 日本岩石礦物礦床學會

Y. Wakabayashi,

The Journal of the Japanese Association of

Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists.

Officers; President. S. Kôzu (Chief editor).

Secretaries. M. Watanabê (Editor), J. Takahashi (Editor),

S. Tsuboi (Editor).

Assistant Secretary. M. Masuda. Treasurer. K. Seto.

Librarian. K. Katô.

Council; N. Fukuchi, T. Hirabayashi, M. Hoshina, T. Iki,

T. Inouye, N. Kanehara, R. Katayama T. Katô,

T. Inouye, N. Kanehara, R. Katayama T. Katô,
S. Kôzu, M. Kawamura, T. Matsumoto, Sh. Nakamura,
S. Noda, T. Ogawa, Y. Ôinouye, I. Ômura,
Y. Sagawa, T. Sasaki, I. Sugimoto, J. Takahashi,

K. Takenouchi, H. Tanakadate. S. Tokunaga, M. Watanabé.

CONTENTS.

Ptate I. The Narugo Volcano.

Editorials and Reviews:

Mineralogy and Crystallography. Linear expansion of calcite etc.

Petrology and Volcanology. Ancient volcanoes of Hsuan Hua, etc.

Ore deposits. Some characteristic features of the ore deposits of Japan etc.

Petroleum deposits. Microscopic c'assification of oil shales etc.

Ceramic minerals. Fused sillica etc.

Coal. Geology of Ta Ching Range and its coal field etc.

Related sciences. Telluric currents and their application on prospecting etc.

Notes and News; New publications.

Published monthly by the Association, in the Institute of Mineralogy, Petrology and Economic Geology, Tôhoku Imperial University, Sendai, Japan.



北端山南麓より東に鳴子水山心望む高真の中央部や、左側に突出するは胡桃岳にして、その右に登ゆるを尾ヶ岳さす。雨峯の此方に平頂を連ねるは鳥谷ヶ森にして、湯沼水口湖はそれら三峰の間に潜みてこの寫真に現れず。山体の左趾方を穿てるは現在の荒墟川に

して、その右に廣く發達する段丘を見るべし。(第一及び第二短報文参照)

(別原理學士祿麗)



創刊の辭

歐洲戰亂以後本邦の學術は特に長足の進步を遂げ,歐米先進國の學界の班に伍して旣に擡頭するに至れりと聞く。吾々の關係する學術に於ても現に多くの研究機關と學會とを見,其研究の結果は種々の印刷物によりて連年盛んに發表せられつ、あり。即ち旣設學會としては發會以來旣に三十有餘の年を閱する地質學會及び將に四十の年を閱せんとする地學協會あり。近年に至りては更に又地球學團及地理學會起り,各機關雜誌を有して其活動隆盛なりと稱すべし。此間にありて今日尚礦物學及岩石學を主とする學會と其機關雜誌を缺くは本邦現時の學術進步の狀况に比して聊か不審の感なき能はざるなり。

觀よ歐米の諸先進國に於て,所謂地質學會なる者に對して 礦物學會或は礦物岩石學會及其機關雜誌を有せざる國あり や。 英國に Mineralogical Society と其機關雜誌 Mineralogical Magazine あり,佛に La Société Française de Minéralogie と其 Bulletin あり, 獨に Neues Jahrbuch für Geologie に對して Neues Jahrbuch für Mineralogie あり,更に Fortschritt der Mineralogie, Kristallographie und petrologie を發刊す,塊に Mittheilungen für Mineralogie und Petrographie あり,瑞西の如きは有名なる Zeitschrift für Kristallographie の外に尚 Mineralogische und Petrographische Mittheilungen を發行し, 今より二十数年前迄は此方面の學術上に深く顧みられざり し米國も十餘年前旣に Mineralogical Society of America を設立 し、其機關雜誌 American Mineralogist は月を逐ふて隆盛に赴き つゝあり。 之等の事實を以て見るも,本邦になほ礦物岩石學 會を缺くは,學術上對外的に遜色ありと爲さぶるべらかず。

飜つて國內斯學發達の狀態を觀るに,近來其研究頓に隆盛を來し,其結果の發表機關たる地質學雜誌或は地球の如きも原稿堆積して,半歲を經るも印刷の順次を得るに困難なる場合ありと聞けり。

かくの如き狀態に在る本邦に於て,今日漸く礦物及岩石學に關する學會を設立し,其機關雜誌を創刊するは,時既に後れたりとの觀ありと雖も,今にして猶ほ其缺を補はざれば何れの秋にか此憾を免れ得べき。幸にして吾等同志の議熟し,岩石礦物學に最も密接なる關係を有する礦床學をも併せ,岩石礦物礦床學會を設立し,之れと同名の機關雜誌を發刊するを得るに至りたるは,余等の欣喜何にか喩へん。然れども余等素より微力にして此の重任を果し得るやは憂慮に堪へず。幸にして諸先輩及同學の士の援助を得て其目的を達するを得ば,本邦斯學の為め慶賀に耐へざる所なり。

發起人を代表して

神津俶祐誌す

發起人及び既に御賛成を得たる御芳名次の如し (順序不同)

赤岡純一郎 阿部直太郎 伊木 常誠 石原 富松 今井喜代志 小川 琢治 小山一郎 大井上義近 大村 一藏 片山 量平 加藤 武夫 ●加藤謙次郎 金原 信泰 木下 鎮城 河村 幹雄 神津 俶祐 佐々木敏綱 佐川榮次郎 杉本五十鈴 灣瀬戸 國勝

純一 →田中舘秀三 ▼竹內 高橋 維彦 干谷好之助 → 坪井誠太郎 雄三 出口 德永 重康 遠山 主稅 中村新太郎 中尾 清藏 野田勢次郎 平林 武 深見俊三郎 福地 信世 保科 正昭 堀 哲三郎 益田 峰一 松下 進 松山 基範 松本 唯一 山根 新次 光雄 ★渡邊萬次郎 脇小鐵五郎 小藤文次郎 青山 信雄 阿多 寶雄 安齊 徹 厚母 庸二 阿部 本生 飯島 兵延 伊原敬之助 石川 成章 石崎 正義 石田 義雄 市來 政級 岩佐德三郎 石川 修 諫早 艮三 井伊 秀勇 石原 吳郎 池田 謙三 岩元友次郎 上田 潤一 上木 正二 內田 涵二 上床 國夫 內野 敏夫 遠藤 岸郎 小倉 勉 小山田拓之 大戶 猷造 大橋 良一 大貫 貞三 大村嘉久郎 小畑 輝絃 大澤勝太郎 大島 十郎 加藤 信 門倉 三能 川井 景吉 川崎繁太郎 河田 英 河野 義禮 兼松 四郎 可兒 弘一 片山 潤一 川口卯三郎 加藤 穆夫 金子永十郎 東京開成館 ♥川村 一水 可野 信一 唐澤勝太郎 加賀谷 交給郎 貴志 敏雄 木村健次郎 黑田 偉夫 熊谷 直一 窪田哲二郎 小岩井兼輝 小林儀一郎 近藤 次彦 後閑文之助 越宮朝太郎 國府 健次 小林 久平 近藤 信興 齋藤 齍 佐々木浩治 嵯峨 一郎 佐藤 源郎 清水 要藏 志賀 武彦 菅原 公平 * 杉 健一 鈴木 富治 鈴木 正利 鈴木廉三九 鈴木 毅 末野 悌六 關根鐵之助 高根 高橋 勝利 昇 橘 孝 田中阿歌麿 谷 巖 高田 昭 田中元之進 田村 喜秋 → 辻村 太郎 田町以信男 谷山四方一 田上 政敏 恒久 清彦 ₩ 坪谷 幸六 鶴見志津夫 津屋 弘達 都留 一雄 鶴田 虎吉 大津 盛吉 德田 貞一 富田 達 鳥山 武雄 內藤 良民 中尾謹次郎 中野 長俊 中村 左衞門太郎 永淵 正敍 中本 明 長島 乙吉 西脇 親雄 丹羽 定吉 沼田幸一郎 日本石油株式會計

濱田八之助 重吉 福田 連 福富 忠男 根本 忠寬 羽田 東吉 朴 藤原 唉平 藤本 治義 本間不二男 藤村 幸一 寬治 音輔 前田 孝矩 牧 本多 厚二 松浦 二郎 松野 三毛菊次郎 松木 久吉 三澤 正夫 三戶見利八 南 英一 諸井 信明 向山 武男 森下 正信 三川 逸郎 満 山 長左衛門 山下 諭吉 山田復之助 山本幸次郎 用田 實質 山崎 直樹 藪原 清 貞助 正衛 柳生 六郎 本八木 次男 八木 八木 孝三 山本 金平 湯山 匡秀 即內 正雄 山山 鎌次 山口 吉田 吉村 豐文 六角 兵吉 若林獅一郎 吉木 文平 博 渡邊 申平 和田 謙一 和田八重造 和田 七郎 渡瀨正三郎 弟彦 伊藤光二郎 佐藤 戈止 渡邊 武男 島津製作所 吉田 瀧本 鐙三 新帶國太郎 村上 鈒藏 澤正平 山本 廣吉 渡邊 新六 和田 長次 深水 泰 科學畫報社 江畑 弘毅 新井 友藏 早坂 一郎 市村 毅 丹 桂之助 安藤昌三郎 六郎 井戶川宗則 志賀 義雄 川口 乙助 木村 大町 政利 立花 幸吉 (十二月八日現在) 石田道之助